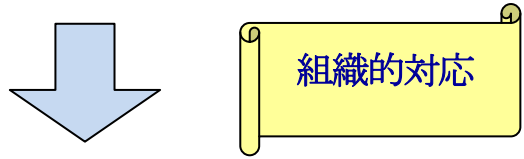


「日常の指導体制（未然防止、早期発見、早期対応）」

未 然 防 止	早期発見・早期対応
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校生活の充実                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・学びに向かう集団づくり</li> <li>・意欲的に取り組む授業づくり</li> </ul> </li> <li>○ 特別活動、道徳教育の充実                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームルーム活動の充実</li> <li>・ボランティア活動の充実</li> </ul> </li> <li>○ 教育相談の充実                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・面談の定期開催</li> </ul> </li> <li>○ 人権教育の充実                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権意識の高揚</li> <li>・講演会等の開催</li> </ul> </li> <li>○ 情報教育の充実</li> <li>○ 保護者・地域との連携                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校いじめ防止基本方針等の周知</li> <li>・学校公開の実施</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 情報の収集                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の観察による気付き</li> <li>・養護教諭等からの情報</li> <li>・相談・訴え（生徒・保護者・地域等）</li> <li>・アンケートの実施（定期）</li> <li>・各種調査の実施</li> <li>・面談の定期開催（生徒・保護者等）</li> </ul> </li> <li>○ 相談体制の確立                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談窓口の設置・周知</li> </ul> </li> <li>○ 情報の共有                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・報告経路の明示、報告の徹底</li> <li>・職員会議等での情報共有</li> <li>・要配慮生徒の実態把握</li> <li>・進級時の引継ぎ</li> </ul> </li> </ul>



校内いじめ問題対策委員会

- ・学校いじめ防止基本方針作成・見直し
- ・年間指導計画の作成
- ・校内研修会の企画・立案
- ・調査結果、報告等の情報の整理・分析
- ・いじめが疑われる案件の事実確認・判断
- ・要配慮生徒への支援方針

〔構成員〕

学校関係者：校長、教頭、生徒課長、生徒課担当教員、人権同和教育/研修課長、教育相談担当教員、特別支援教育コーディネーター、養護教諭、スクールライフアドバイザー、各学年主任、関係教員

いじめ問題対策委員会

- ・学校教育活動全体、家庭や校外活動を通じて、個性を尊重する態度や他を思いやる態度及び良好な人間関係の育成
- ・学校、家庭、地域が一体となったいじめの防止の推進
- ・学校、家庭、地域の連携による情報交換、相互研修等
- ・いじめが発生した場合や発生する恐れのある場合において、事実関係の迅速かつ正確な把握と適切な対応

〔構成員〕

地域代表：PTA会長、PTA副会長4名、伊方町教育長、伊方町人権擁護委員、三崎公民館長、八幡浜警察署、中学校（三崎、瀬戸、伊方）3名

高校代表：校長、教頭、生徒課長、人権同和教育/研修課長、学年主任3名、教育相談係、養護教諭、その他委員長が指定する者

「緊急時の組織的対応（いじめ問題への対応）」

